

広島工業大学

# 同窓会誌



広島工業短期大学(昭和38、39年)広島工業大学(昭和41、54年)

卒業生との懇親会 平成16年3月19日(金) 大学会館4F

第39号  
2005年

## 広島工業大学学歌

作詞 広島工業大学選定

作曲 井上 佳

緑なる 緑なる三宅

深きいわれの 御倉を開き

倫哲愛を誇る 我等が学府

見よや行くて 精気の学士

研学の道 倚りてぞ極む

ああ 広島工業大学



## 目次

我がふるさと「三宅の丘」……………	1
同窓会の皆様へ……………	2
支部だより……………	4
共同研究機構について……………	8
大学だより……………	10
「三宅初鶴会」設立について ……	12
総会報告……………	15
支部からのメッセージ……………	18
同窓会本部……………	21

題字 鶴 襄 名誉会長

## 第40回 広島工業大学同窓会総会の開催について

1. 日時 平成17年4月16日（土）  
午後3：30～4：30 記念講演会  
午後4：40～5：40 第40回同窓会総会  
午後6：00～8：00 懇親会
2. 場所 鯉城会館（広島県民文化センター）  
広島市中区大手町1丁目5-3  
（そごう・バスセンター・デオデオ本店南側）
3. 会費 5,000円（当日、会場にてお支払いください）



## 我がふるさと『三宅の丘』

広島工業大学同窓会

副会長 江郷 道生

同窓生の皆様におかれましては新しい年を迎えられ、ますます御清栄のことと存じます。

昨年はアテネオリンピックが華々しく開催され、日本人選手が大いに活躍しました。しかし一方では『災い』の年といわれ、観測史上最多の台風上陸や新潟県中越地震、さらにはスマトラ沖地震による津波での大被害など、まさに天変地変の年でした。

今年はその原爆が広島に投下され戦争が終結して60周年という節目を迎えます。暦で言えば還暦で、この戦後60年、世の中は大きく変わりました。

期せずしてわが同窓会もこの春、40期目の新規会員を迎えることとなり、会員数も33,500名余りになります。

昭和41年（1966年）同窓会発足当時の大学本部はD号館（現10号館）にあり、広電楽々園からゴルフ場（宮島CC）行きのバスに乗り通学していました。バスの便数は少なく、あの坂道を汗を掻き々々登り降りしたものです。

また、現在の本部のある本館や野球場のあたりは、大型ブルドーザーが何台も入って大きな音を出しながら造成工事が盛んに行われていたように思います。

卒業研究ではコンクリートの床に原子炉の炉心研究用のテストプラントを造り徹夜で運転し、当時は近所の農家から白菜や大根を分けていただき『豚汁』を作り、その美味しかったことを今だに懐かしく思い出します。

その後、学舎や図書館、クラブハウスなどが次々に建設され、今では西日本有数の工業大学に発展しています。これは私達同窓生にとって非常に喜ばしいことです。

私も卒業後何度か研究室を訪ねましたが、そのたび

に後輩の学部生や院生が目を輝かせて『今、自分はこのような研究をしているのですよ。』と言って研究内容を説明してくれました。それは『後輩も頑張っているのだな、自分も頑張ろう。』という私自身のエネルギーにもなっていました。

最近、母校では『科学技術と日常生活との対話』というサブタイトルの公開シンポジウムが度々学外で開催され、母校の名を見聞する機会が多くなり、また、先のスマトラ沖地震に関するニュースでは、母校のパラボラアンテナで人工衛星画像を解析した大津波の状況がテレビで全国放送されるにつれ、地域や世界に貢献する母校を誇りに思います。

さらに40年と言う年月が、いろいろな所で多くの同窓生と会う機会を作ってくれます。レセプション会場であったり、職場であったり、『私は〇〇科の〇〇期生です。』などと言われると、専攻や学年が違ってまったくの初対面ではないような気がして話が弾み、新たな人の出会いができるのも楽しみの一つです。

ちなみに、同窓生の中には自分の子息を母校に入学させておられる方もいて、後援会の役員などで親子二代が活躍されている話も耳にします。また、母校を卒業後、社会に出ていろいろと活躍され、それも卒業して今まさに『人生の有給休暇』に入ろうとしておられる方々もおられるのではないのでしょうか。いずれもあの『三宅の丘』が出発点であると思います。

同窓会も40周年記念イベントを来年、鶴学園の創立50周年とタイアップして開催する予定にしています。同窓生の皆さん、共に学んだあの『三宅の丘』に集い、もう一度、昔に帰り大いに語り合ひましょう。お会いできる日を楽しみにしています。



# 同窓会の皆様へ

広島工業大学

学長 茂里 一紘

## 教育改革18

平成18年2月、鶴学園は創設50周年を迎える。折しも、平成18年は中学・高等学校の新しい学習指導要領で学んできた学生を受け入れる年度でもある。大学教育の内容も改編する必要がある。また少子化など大学を取り巻く環境はこれまで経験したことのないほど厳しくなっており、教育の真価が問われている。この機会に建学の精神である「教育は愛なり」の原点に立ちかえり、改めるべきものは改め、内外の変化に対応していく必要がある。

このような認識のもと一昨年秋以来、教育改革に関する特別委員会を設置し、教育目標、教育内容・方法、教育システム、学部・学科改編について検討してきた。創設50周年を迎える18年度から実行することとし、「教育改革18」と称している。

「学部教育は基礎重視」、そして「大学院〈修士〉は体系だった専門教育」を本学の技術者教育の基本路線とするが、今回の教育改革のキーワードの一つは「多様性」である。一つの対応として、同じ学科内でも高い到達目標を望む学生には、「発展学習トラック」を設けて対応する。もとより教育は一朝一夕にことが成るものではない。雨粒が石を打つごとく、点検評価を継続しながら不断の改革を行う。

## 教育組織

本学は、現在、工学部と環境学部の2学部から成っている。教育効果をより高めるため、これを工学部・情報学部・環境学部の3学部体制とする。工学部は、電子・光システム工学科、電気・デジタルシステム工学科、機械システム工学科、知能機械工学科、建設工学科、建築工学科の6学科で構成する。情報学部は、知

的情報システム学科、情報工学科、健康情報学科の3学科、および環境学部は、環境デザイン学科、地域環境学科、地球環境学科の3学科で構成する。学生の総定員数は現行の1080名のままとする。各学科はそれぞれの特化した専門性を掲げると同時に比較的分野の近い学科間で「系」を構成し、同じ系の学科間では連携と協力によって教育をより効果的に展開する。学科枠と系枠で学生を受け入れる。2年次進学時には全員学科所属になる。

## 教育目標

私学にあっては、教育目標は重要である。それは私学の拠って立つ「志」である。教職員学生で共有すると共に、それは教育カリキュラムに反映されなければならない。

本学の教育方針は「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」である。教育改革に関する教員研修会にお招きしたあるOBが、「今となっては本学の教育方針は含蓄のある言葉であると思う」と言われた。またヨット部創設40周年の祝賀会でOB会会長の吉田さんは、「正しいものが正しいとされ、正しくないものは正しくないとされる時代となった。今こそ、広島工業大学の教育方針は価値がある」といった内容の挨拶をされた。

特別委員会では本学の教育方針をどう理解するか、そしてどのように教育に反映させるか議論した。そして教育現場での具体として「社会とのかかわり、環境、倫理の重視」と理解することとした。すなわち、教育目標を「中核技術者としての基礎知識とそれを応用する力、環境重視の認識と環境保全のために行動する力、そして高い技術者倫理とそれを実践する力」とした。これは開学以来滔々と続く本学の教育の中で培われて



きたことでもあり、本学の学風の確認でもある。キーワードの「社会、環境、倫理」はいわゆる教育科目で扱うだけでなく、むしろ専門授業科目の中で学ぶ。具体的には専門の授業の中で、「社会、環境、倫理」のいずれかにひきつけた授業を1コマ設け、専門との関連で学ぶ。

#### OBの皆さんにも

教育改革18とは別に、昨年4月共同研究機構が発足した。また新年度からはキャリア教育プログラムとオープンカレッジプログラムがスタートする。いずれもOBの皆さんの参加を期待している。

共同研究機構は、大学の知的資源および設備・装置を社会のために役立てることを目的とする。技術的課題の解決に力を貸すと同時に、大学も社会から学ぶ機会としたいと願っている。キャリア教育プログラムは、資格取得などのための正課外の教育プログラムを提供するものである。勿論OBの皆さんも参加できる。開設されているものはホームページで公開している。オープンカレッジプログラムは、広く学外に公開した講義・講演でこれにも勿論参加戴ける。リフレッシュの機会として戴きたい。

大学院では社会人特別枠を設けている。もう一度勉強したい方、また仕事上学位の取得を必要とする方もおられることと思う。そのような方々の入学を歓迎する。卒業生に対する授業料優遇制の導入が必要かと思っている。それとは別に、本学の教育の実施にもOBの皆さんの力をお借りしたい。上述の「1コマ」授業の担当や資格取得学習あるいは就職指導にあって、OBの皆さんの実社会におけるご経験をお借りできればと思っている。

大学は、学部在学期間だけのものではないというのが私の基本的理解である。卒業後も母校と強い関係を持ち続けて欲しいと思っている。

#### ジュビリーホームカミング

ところで、昨年の卒業式に第1回卒業生（卒業後38年）と卒業後25年の方々に集まっていた。若々しい現役諸君の巣立ちを共に祝っていただいた後、大会館でしばしの歓談の時を持っていた。いかがであったろうか。今年も引き続き卒業式にご招待することを計画している。久しぶりの方もおられるでしょうが、是非この機会に母校を訪問して下さい。

#### むすび

昨年今年も、新年の挨拶で「脱皮をしない蛇は死ぬ」という話をさせていただいた。教育改革18は、成虫になるための脱皮であると理解している。脱皮は不連続的な変化であり、成長である。本学もそのような時期を迎えているということである。また「明るいキャンパスに」とも話した。組織が大きな変革を遂げようとする時、組織は明るくなければ変革は成功しない。

昨年末に、新1号館のピロティにクリスマスツリーが飾られた。理事長と入試部長の肝いりによるものであるが、太陽電池によるLEDが点滅した。点灯式の挨拶で、merry Christmasのmerryには、「歌いたくなる気持ちという意味がある」と話した。学園50周年を期に、改めてOBの皆さんに誇りに思ってもらえ、関係者あげて“merry”と喜びあえるような母校になるべく、努めている。そしてまた“merry”な同窓会を願っている。

# 支部だより



広島第一支部

矢谷 秀昭 (昭和45年 経営工学科卒)

早いもので卒業してから34年の歳月がすぎました。その間、我が母校はたゆまぬ発展を続け今や屈指の工業大学としての地位を確保されたことに心から敬意を表すと共に、卒業生として大変誇りに思っています。

私の34年を振り返ってみますと、卒業して2年広島で勤めた後、現在住んでいる三次に帰り9年間勤めた後現在の会社を作り独立しました。当時、三次には知り合いも少なく、独立と同時に進められるままに三次太鼓に入りました。

今から30年前地域の活性化にと、三次青年会議所のメンバーにより三次きんさい祭りが生まれそのメインに太鼓ということで山梨県の無形文化財保持者の天野宣先生に作曲を依頼し組曲「三次太鼓」と「三次どんちゃん」ができました。私は3期生のメンバーとして24年間続けていますが、年間約30回という出演をして来ました。その中でもっとも記憶に残る出演は、ハワイ官約移民百年祭での「三次太鼓」公演そして三次きんさい祭り20周年記念のアロハウイクでの「三次どんちゃん」パレードと2回のハワイ公演です。そして国際社会福祉会議東京大会、東京広島県人会50周年記念大会と大きな行事に出演させていただきました。県内では、山本浩二2000本安打記念パーティーそして北別府投手MVP・沢村賞受賞パーティーなどいい思い出となりました。しかし出演をするにあたって仕事のほうもかなり犠牲にしてきました。でも当時は景気も右肩上がりでもなんとかできましたが、今日の様な景気では大きな出演はかなりの負担になるとおもいます。三次太鼓のメンバーも高齢化しているのですが、なかなか若い後継者が入ってこないのが現状です。

でも、24年間三次太鼓と三次きんさい祭りに携わって来たおかげで、いろんな人と知り合えました。長い知り合いなのに工大卒とは知らずある時大学の話になり、あれも工大、これも工大という話になり、それでは県北に同窓会を作ろうという事になり、支部長の和

田さんや事務局の国原さんのおかげで10年前に広島第一支部という大きな名前の同窓会ができました。

毎年同窓会の総会後の懇親会では、余興として地元の音楽グループや郷土芸能を披露してもらっていたのですが、昨年は10周年という事で現役の学生グループに来てもらおうという事になり、大学のお世話で決定していたのですが、総会前日になって来れない事がわかり、急遽いろんな団体にあたってみても前日の話なのでうまくいかず困り果てた所、私が指導している三次どんちゃん子供連に連絡すると保護者の理解もあって何とかメンバーも集まり、懇親会で「どんちゃん」を披露する事ができ以外にも皆さんから好評をえました。

この三次どんちゃん子供連は、平成8年に開催された広島国体三次バレーボール会場の開会式の集団演技で「どんちゃん」に出演したメンバーからまだ「どんちゃん」がしたいと声があがり、集団演技のチーフという立場からそのまま子供連の指導者として現在に至っています。小学生が中心なので毎年メンバーが少しずつ入れ替わり、国体の集団演技に出演したメンバーは高校・大学生になっています。子供たちにはこの年になっても色々と感動を与えてもらっていますが、中でも平成15年8月に「みよし児童合唱団」と「三次どんちゃん子供連」合同で行ったアメリカ・カナダ公演は本当に感動の連続でした。コロラドスプリングスの老人ホーム・スカイソックス球場・中学校のコンサートホール・教会でのコンサート、いずれも合唱団の演奏の後合唱団の子供と一緒に「どんちゃん」を披露し大喝采をあげ好評でした。カナダのメイプルリッチでは現地の子供さんと一緒に「どんちゃん」をして大いに盛り上がり交流する事ができました。子供たちはアメリカ・カナダともホームステイだったのでいろんな体験ができたとおもいます。この経験が子供の将来に役立てばと願っています。また、子供の指導をして



いて嬉しかったのは、練習に来てる時は明るい子と思っていたら一人は不登校、もう一人は保健室登校だったらしく、どんちゃんの練習や出演をとうして友達が出来、自信が付き不登校問題が解決しましたと、保護者から感謝されたときは指導者として大変嬉しく思いました。

独立してからの24年間は、三次きんさい祭り・三次太鼓・三次どんちゃんと共に歩んできた感じがします。その間事業の方は山あり谷ありますが、ラグビー部で同期の和気君が岡山市議会議員に、三次市では近藤君が市議会議員になり行政で頑張っていますし、第一支部のメンバーも多数経営者として活躍していますので、私も事業にボランティアに還暦までもう一踏ん張りしなければと思うこの頃です。

最後に、同窓生の益々の活躍と広島工大の発展を願って終わりにさせていただきます。





## 岡山支部定期総会を終えて

岡山支部支部長  
村上 侑 (昭和38年 電子工学科卒)

広島工業大学同窓会岡山支部は、第13回支部総会を平成16年10月30日(土)に、岡山市駅元町のホテル第一イン岡山で開催しました。参加会員17名、大学関係者13名、合わせて30名のこじんまりとした総会ではありました。

大学関係者はこの日に、広島工業大学教育懇談会を近くの別のホテルで開催して参加された教職員の方と、保護者後援会役員、それに岡山支部の顧問でいらっしゃる、広島工業大学教授を退官されました圓見康夫先生といった方々でした。

定期総会は、前年の活動報告、決算報告、本年活動方針と予算案承認が滞りなく行われました。

引き続き、懇親会の開催となりました。支部長としての私の挨拶の後、来賓代表で、広島工業大学鶴学園総長、高木俊宜先生に大学、学園の現況などの話を交えながらのご挨拶をいただきました。そして、顧問の圓見先生による乾杯の音頭でにぎやかに会が始まりました。

久しぶりの恩師との語りいで、にぎやかに楽しい歓談は尽きないようでした。同窓生同士も久しく逢っていなかった友人との懇談は時を忘れていたようでした。

その喧騒を静めるかのようにアトラクションが始まりましたが、さらに笑いとお声の会場を作ることになりました。アトラクションは、支部役員が一人二個以上の提供した景品を、ビンゴゲームでビンゴを完成した方から選んでいくゲームです。提供する品物は、贈答品などで使っていない、押し入れに眠っているもので、一個千円ぐらいの品物をお願いしました。毎年出していますので、奥方から今年は出すものがありませんよと言われ、私は贈答品店で買ってきましたが…。

ビンゴがあたって景品を頂くときは、五百円以上いくらかでもいいですから、とお願いしてボックスにお金を入れていただきます。皆さんに祝福されながら、差し出す金額は五百円とはいかないようです。

こうして集まったお金は、来年の支部総会の運営資金の一部として使われますが、この総会懇親会の運営費の大半は参加者の会費がすべてで、毎年の決算総額数十万円の運営ですのでたいした金額ではありません。今年も会員の参加は少ないのですが、多くの大学関係者の出席で助けられているのが現状です。

その意味からも、大学の教育懇談会と同じ日に支部総会を開催することにしております。当日は、我々支部役員四～五名のものが教育懇談会会場へ直接出向きまして、懇談を終わられました保護者の方々と直にお会いして、学生の生活状態や、学内活動であるとか、将来の進路選択など我々のかつての学生生活を思い出しながら、雑談に近いお話をして参りました。

ある学生の祖母がお見えになり「孫は就職が決まらなかったら、フリーターになると言ってるんですが…」と心配をされていました。私は「自分に合った職業を見つける手段として短期間の自由は意味があると思いますが、その間は何の保証も無い、収入も無いですでお勧めはできませんね。それよりは、技能を身につけるべく専門学校で勉強するのも一つの考え方もできませんね。大学から要請があれば、岡山地区の専門学校の情報提供もできますよ」と。

また、ある母親は、「息子は下宿生活をしているので





すが、どうも生活が不規則になっているようで心配だ」と言っておられました。「私も学生時代は、下宿生活でしたが、親から送金してもらった始めはいいのですが、使いすぎて後ピーピーしたことがよくありましたね。これも生活の知恵を学んでいると思ってあげてください。過ぎ足るは及ばざる、ですよ。また、同じ下宿仲間同士でも助け合うこともやってましたね。今は、あまり友達を作るのが上手でなくなってますね。ある意味では、平和な時代で豊かになって、助け合わなくてもできる様で、人との繋がりが薄くなったのかも知れません。大学生活では、一生付き合う友人を作ることも大切な事ですね」と。

部活で勉強がお留守になってはいないか、心配な父親には「今は、部活をする学生が少なくなっていて、学生気質もずいぶん変わってきている様ですが、ご息子さんは非常にいい経験をされているのではないですか。先輩と後輩、挨拶と礼儀、人との調和、言葉遣いなどいろんなことを勉強されていると思いますよ。むしろ、求人する企業もそういったことのできる人材を求めているのではないのでしょうか」と。

ボランティアにいく子供を心配する母親には「ボラ

ンティアは生半可な気持では続かないと思いますよ。まさに3Kを味わうことになると思いますが、仲間との協力の中でやっていくのでしょうか、やったことが、喜んでもらえるよろこびは素晴らしいことだと思いますよ。人の心に触れることになると思います。」と。

「今は少なくなった、三世代同じ屋根の下で衣食を共にする事は子供の成長には大切な事だと思いますね。」「祖父さん婆さんの死んでいく姿を目の当たりにした孫は、命の不思議さ、大切さを自然に学んでいると思います。哀しいことに、人の命を簡単に奪うそれも小学生の幼少で起きていますね。これからの時代が心配になりますね」……こんな世間話も交わされた懇談でした。

話を、支部懇親会に戻しますが、にぎやかに楽しくビンゴが終わる頃には会も終わりに近づき、学歌、応援歌の合唱、電子・光システム工学科助教授の重広先生の音頭による万歳三唱で会はお開きとなりました。有志による二次会へは恩師も一緒にたくさん繰り出したのは言わずもがなでありました。

# 広島工業大学共同研究機構について

広島工業大学では、2004年4月1日に産学連携、プロジェクト研究及び外部機関との共同研究の推進ならびに教職員の職務発明等の支援を図ることを目的とし共同研究機構を設置しました。共同研究機構につきましては、平成16年4月に開催されました同窓会総会で概略をご紹介させていただきましたが、この度の同窓会誌でより詳しく共同研究機構の活動方針、平成16年度の活動内容を紹介させていただきます。

共同研究機構は、産学連携推進センター、プロジェクト研究センター及び共同利用実験センターと共同研究支援室で構成しております。

産学連携推進センターでは、社会・産業界に対して積極的な人的交流、共同研究の推進、成果の技術移転による活用等を推進し、社会・産業界のニーズに柔軟かつ組織的な対応を行う目的で設置されました。

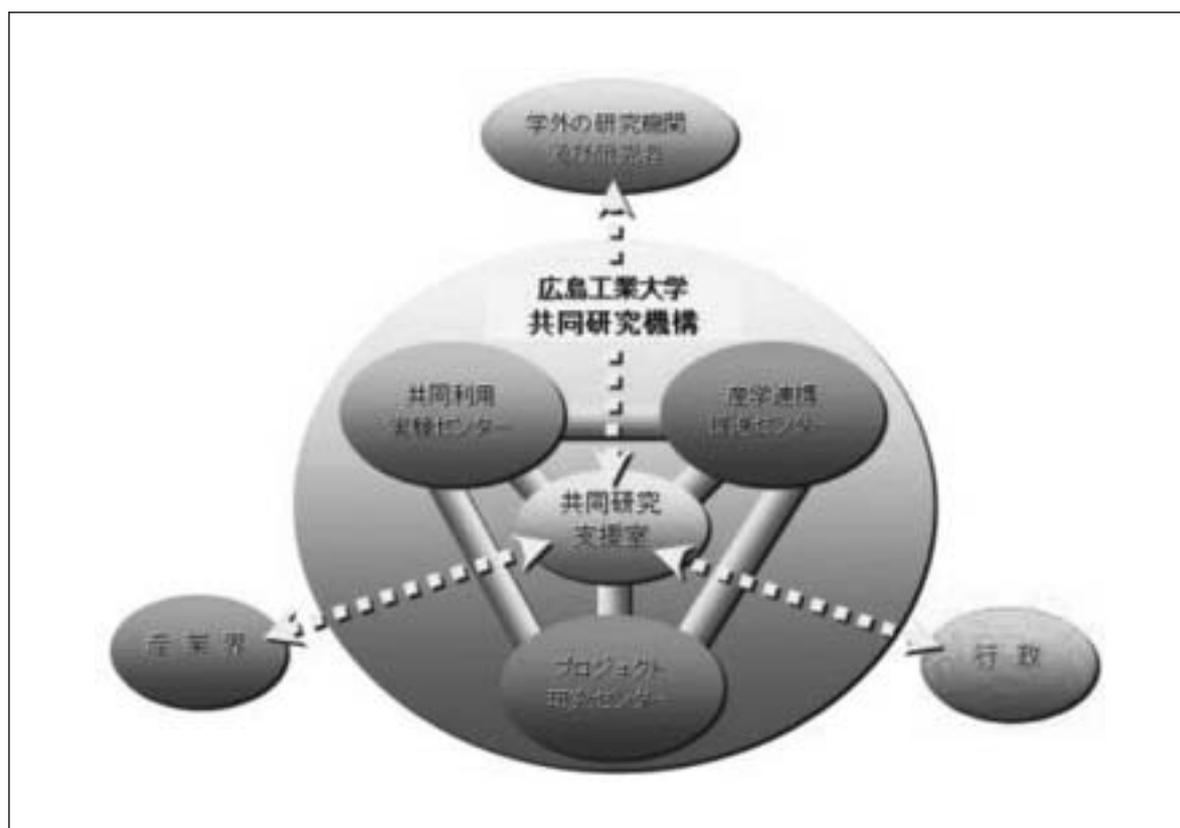
産学連携センターは、主に

- 1) 企業等からの共同研究及び受託研究に関すること。
- 2) 研究シーズの公開に関すること。

- 3) リエゾン活動及び技術移転の支援に関すること。
- 4) 特許統制的財産に関すること。
- 5) 企業等からの技術相談及び技術教育に関すること。
- 6) ベンチャー支援に関すること。

の業務を行っております。本年度は、研究シーズの公開に際して、平成16年度版の研究シーズ集の発行と共同研究機構の設立記念講演会を合わせた第2回の技術交流フェアを広島工業大学で9月16日に開催しました。技術交流フェアでは、研究設備の公開、セミナー、講演会、交流会と盛りだくさんの行事に学内外300名の参加を頂きました。11月2日、8日には、広島と大阪で開催されました企業懇談会で研究シーズをパネルで公開致しました。

プロジェクト研究センターは、本学の教職員と学外の産官学人とで構成し、組織を超えた横断的なプロジェクト研究を行い、研究活動の推進と活性化を図る目的で設置されました。現在、下記に示します20のプロ



ジェクト研究センターが設置され、研究活動を行っています。これらのセンターの活動内容は、2月16日に広島工業大学の広島校舎で開催いたします第3回技術交流フェアで紹介致します。

- ・ 高品質薄膜形成技術研究センター
- ・ プラスティック光ファイバー研究センター
- ・ 非破壊糖酸度同時測定法開発研究センター
- ・ IC設計・プロセス工学教育研究センター
- ・ 立体映像システム研究センター
- ・ 医療・福祉機器研究センター
- ・ 複合加工研究センター
- ・ 建築資材のリユース研究センター
- ・ 大気海洋間相互作用のシミュレーション実験センター
- ・ 生態・材料微細構造観察分析センター
- ・ 下水道コンクリートの耐酸性研究センター
- ・ 山砂最終残泥土の再開発研究センター
- ・ 屋上緑化技術研究センター
- ・ 第3世代放射光利用研究推進センター
- ・ 電力エネルギーシステム研究センター
- ・ 住環境教育学習研究センター
- ・ 東アジアの神楽研究センター
- ・ インテリアデザイン研究センター
- ・ 環境応答物質研究センター
- ・ 高度地球環境情報研究センター



共同利用実験センターは本学に設置されました研究設備、装置を学内外の研究者へ広く開放し、共同研究を積極的に推進する目的として設置されました。センターでは、登録された12の研究設備を学内外の研究者にホームページで公開しております。

共同研究支援室は、3センターの諸業務の支援および受託・産学共同研究、奨学寄附金、特許等の事務を行っています。

以上、共同研究機構では広島工業大学の研究、産学連携の要としての役割を果たすべき多岐に亘る活動を展開すると共に、これらの活動を通して、本学の教育方針であります「常に神と共に歩み社会に奉仕する」を実践しております。

同窓生の方には、共同研究機構の活動にご理解いただき、積極的な活用と共に、共同研究機構に対しますご意見、要望、支援等よろしくお願い致します。

尚、共同研究機構では平成17年度の新たな活動としてメルマガを発行いたします。このメルマガには、共同研究機構の活動状況、イベントおよび特許等に関する最新情報を掲載します。メルマガは、メールアドレスを登録して頂いた同窓会会員の方に、直接お送りいたします。登録は、下記のホームページ、メールアドレスあるいはFAXでお願い致します。

#### 登録方法

ホームページ：<http://seeds.cc.it-hiroshima.ac.jp/mag/>  
メルマガ申し込みフォームにご記入下さい。

メールアドレス：infokiko@cc.it-hiroshima.ac.jp

FAX：(082) 921-8963 (共同研究支援室)

メールアドレス、お名前、ご勤務先(任意)をご記入の上、

件名：「メルマガ申し込み」としてご送信下さい。



# 平成16年度 広島工業大学の課外活動ク

## ソフトテニス部

A101122 宮地 正義  
B201072 高木 文生

### 【4年間を振り返っての感想を聞かせてください。】

二人：早かったですね～。でも本当に濃い4年間でした。

高木：高校とは違って、僕たちが自主的に練習し、互いに協力してクラブを運営していく。苦勞もしたけど、楽しかったですね！

宮地：ソフトテニス部には、様々な個性の人が集まっています、それぞれ違っていたけど、まとまるべき場面では、ちゃんとまとまっていたね。もちろん楽しむ場面は、とことん楽しんでいました。

### 【一番印象深い試合と、その理由を教えてください。】

宮地：1回生のときの中国学生ソフトテニスリーグ戦大会ですね。2部から1部に昇格して間もないのに、「目指せ！全国！」と、クラブ全体が一致団結していました。結果は、なんと優勝！本当に驚きました。

高木：僕は大学生活最後の試合が印象深いです。3回生の時は優勝したのに、決勝戦で負けてしまい、最後に有終の美を飾ることができず、悔しかったですね。



### 【ソフトテニスの魅力を教えてください。】

高木：ペアで協力し息がピッタリ合わないと勝ち抜けないという点が魅力です。決して、上手な人がペアで組めば良いということではないんです。ペアの「阿吽の呼吸」ですね。

宮地：試合中の魅力は、相手との駆け引きですね。ペアで息を合わせ、ゲームを作り、相手の考えや動向をイメージし、試合を進めていく。これが1番楽しいです。イメージ通りになった場合は、試合中ニヤニヤしてしまいますね（笑）

### 【クラブ内では、二人はどのような立場ですか？】

宮地：僕は、熱くなってどんどん直進するタイプ。フミオ君が、違う視点から見てくれて、僕たちの軌道修正してくれるので、助かりましたね。

高木：そうなの？知らなかった～

二人：（笑）



### 【課外活動を続けて、得たものは何ですか？】

宮地：人間として大きくなりましたね。主将として、クラブ運営について頭を悩ませたこともありました。でも、人と接するうえで、人の特徴を把握・理解する力を得ることができました。

それと、仲間。仲間といっても、良きライバルでもあります。今後も互いに刺激し合える関係を続けていきたいですね。

高木：俺の言うこと、無くなったじゃん！

僕も仲間を得たことは、もちろんのこと、OBや学外の方など様々な考えをもっておられる方と出会い、技術面以外において教わるが多かったですね。精神的に得たものは大きかったと思います。

### 【この経験を、今後どのように活かしていきたいですか？】

宮地：僕は高校の教員になるので、この経験を高校生に伝えていきたいです。僕自身、まだ経験も浅く、未熟な点も多いので、今後もいろいろと経験し、学びながらですけどね。今後は、教わる立場から教える立場へ変わりますが、ソフトテニスを通じて、互いの気持ちを理解しあえるような環境をつくっていききたいですね。

高木：僕の場合は、この4年間で様々な経験をすることができ、とても大きく成長できたと実感しています。具体的にどのような場面でこの経験を活かすことができるかは、分かりませんが、この経験が必ず私自身を助けてくれるだろうと信じています。



# ラブ・サークルについてインタビュー

## 馬術同好会 B20107 政安 孝彦

### 【4年間を振り返っての感想を聞かせてください。】

馬術部がある大学を探して入学し、すぐに入部したのですが、本当にあっという間に4年が過ぎてしまいました。そんな気がしますね。



沼田校舎が遠くて当初は苦労しましたね。自転車で沼田校舎に行こうとチャレンジしましたが、さすがに途中で引き返しましたね。(笑) 冬は道路が凍ってしまって、練習に行くことができない、または沼田校舎から帰れないということもありました。

### 【印象深い試合と、その理由を教えてください。】

まず、3年生のときに出場した全国大会ですね。大学ではじめて全国大会に出場できたのですが、なんと総合馬術という競技中に落馬し左手を骨折してしまいました。

次に印象深いのは、大学デビュー戦で1位になったことです。そのときに2位だった他大の学生とは4年間ライバルとしてお互い競い合いましたね。4年生のときにはそのライバルとともに世界大会にも出場することになりました。お互い向上しあえるよい関係を築けましたね。

### 【馬の世話について教えてください。】

毎日、部員が交代で世話をしました。慣れるまでは大変だと感じていましたが、世話をしていくにつれて、馬に愛



着が湧いて、気付いたら馬のことを「カワイイ!」と思っていました。馬の名前を呼んだら、振り返って僕のところに来てくれるんですよ!

### 【馬術の魅力を教えてください。】

「馬との一体感」と「ゴールの喜び」です。ゴールの喜びは、どの競技も同じだとは思いますが、やはり目標に向かって、馬と一体となり、ともにゴールすることは、本当に気持ちよかったです。

人間の単独競技とは少し違って、自分のスキルと馬とのコミュニケーションが求められる競技なので、この点も魅力の一つですね。馬とのコミュニケーションをとるのは本当に難しく、時間もかかりました。普段から接し、ともに練習し、クリアしたら褒めてあげる。この繰り返しで、苦労もしましたが、振り返ってみれば楽しかったなあと思います。



### 【課外活動を続けて、得たものは何ですか?】

仲間ですね。先輩・同輩・後輩と協力しクラブを続けてきましたが、やはりみんなの支えがないと続けられないものだと思います。そして、支えてもらったことの有り難味を実感しました。だから、恩返しする気持ちで、後輩たちには技術的な面などを指導しています。

主将として、クラブを率いる立場だったので、個人的な面では責任感と礼儀も身に付いたと感じています。

### 【この経験を、今後どのように活かしていきたいですか?】

今後どのような場面・形で活かしていけるかは分かりませんが、課外活動で得たものは必ず社会や今後の人生の中で活かされると信じています。この4年間で得たことを忘れず頑張っていきたいと思います。

# 「三宅初鶴会」設立と第1回総会・懇親会の報告

「三宅初鶴会」

第一期会長 植田 克幸

年をとるのは早いもので五日市三宅の丘の「鶴学園」広島工業短期大学を昭和38年、39年に卒業して以来42年41年、又広島工業大学を41年に卒業して以来39年が経過しました。この間の卒業生を一纏めに同期会を結成し懇親会を開催したらどうだろうか？と思うようになり数人の同期の者に相談したところ、賛同を得ることが出来スタートすることになりました。（要は皆が寄り集まって一杯やりたいのが本音ですが…）同時に電子工学科に拠る「縦」の組織を作りたい、との提案が45年卒業生からあり、我々の年代では同期会を実施したことがなく同期会の発会の必要性を感じました。

平成15年10月に7、8名の役員が集まり協議を開始しましたが、16年に入ると大学側より3月19日に行われる大学卒業式へ第一期と14期の卒業生が招待されるとの知らせを受け、早々に同期生の住所確認などの整備をすることになりました。しかし、卒業以来あまり連絡することのない年月の長さを思い知らされることとなります。そこで同窓会名簿より各役員に割り当てして不明者の発掘に当たりましたが、思うに任せず大変苦勞をしました。それでも40年ぶりの電話に昔話の花が咲き一時でも若返り歳を忘れる事が出来ただけでも大変嬉しく、とても有意義な時間でした。色々と話

を聞いてみると其々の立場環境のなかで頑張っていることが判り心強く又、頼もしく思った次第です。卒業式に招待されたことをチャンスと捕らえ、この日に合わせて同期会の発会を行い、会則の承認、役員を選任、会の名称の決定等を行う事にしました。しかしながら、一人でも多くの参加があって初めて同期会としての設立総会が意義あるものになると同時に、卒業式にも多数のOBが参加することで大学側に対しても、招待された側の誠意を表すことになると感じておりました。このような経過がありましたが、各役員に割り当てした連絡内容を集計して、会則の作成等のため会合を重ねた結果、なんとか形になる自信らしきものが持てるようになりました。

平成16年3月19日当日は午前10時より卒業式開始、なんと初めての鶴記念体育館の大きさ、会場の広さ、卒業生の多さ、我々の時代と比較にならないのは当然ながら大変驚き、どこかに誇らしさを感じている自分がある事に気がついた次第です。式では茂里学長より我々OBの紹介をして頂き一同起立、大変晴れがましいなかにも気の引き締まる思いでした。13時からは我々OBの為に懇親会まで開催して頂き、大学当局より鶴 襄名誉総長をはじめ鶴 衛理事長、茂里学長、



高木総長、横山同窓会長、他多数の教職員の方々の出席のもと大変な盛会になりました。我々OB側は1期生（短大38、39卒、大学41卒）30名、14期生6名の出席でした。当日は平日（金）であった為か出席者が少ないのが多少気になりましたがそれでも忙しい中、参加頂いた皆さん有難うございました。約2時間の懇親でしたが昔話に花が咲き若き在りし日の思い出や、現在の状況等に話が盛り上がり時のたつのが早かったこと。最後に鶴衛理事長の挨拶があり懇親会を終了、15時から同期会設立総会を開催しました。会則の承認、役員を選任、そして会の名称を決める時には色々の案が出ましたが五日市の三宅の地から巣立っていった鶴学園の初めての卒業生との意味を込めて「三宅初鶴会」（ミヤケシヨカクカイ）とすることを決定して設立総会を無事終了することができました。

懇親会の際の雑談のなかで在学中のことが沢山話に出ましたので、そのなかの一部を紹介します。初期の建物は現在の11号館（3階建）とその上にゴルフ場に向かって2棟の平屋の実験室がありました。11号館の中央には通路があり向かって右側が大学事務局、左側には掲示板があり学生に対しての連絡その他があったと思います。その奥に実験室へ行く階段があり、その左側の小さな売店でパンや牛乳その他ちょっとした文房具などが売られていたと思います。左側の大きい教室は製図室で専用の机、椅子、製図板が備わっていました。専任は松田幸一先生でした。11号館の前はちょっとした広場になっていてその向こうに20本位の松の林がありました。ちょうど今時分のように寒い冬の時期になると誰が持ってきたのかブリキで出来た缶で焚き火をして暖をとっていました。当時割り木（薪）一束が100円位であったと思います。電磁学の久保進教授が近づいて来られて、怒られるかなーと思いきや一言「日本広しと雖も大学内で焚き火をして暖をとる大学はないだろうなー」と言いながら一緒に手を出してニコニコしておられた姿が思い出されます。その内段々と行動が大胆になりいつの間にかドラム缶が製図室の中に移動して、教室の天井が煤けてきたのです。それにも増して大胆になり、木製の製図用椅子の数が少しずつ減って行ったのは何故であったのか？なにしろ地元の人の話によると三宅の丘は極楽寺下ろしと言う寒風がとても強いと昔から言われているそうですので、勘弁してもらおうことにしておきます。（犯人不詳時



効の為）売店で思い出すことは、昼近くなると何故か4～5人が一度にパンや牛乳などを買いに行き山田のおばあちゃんの眼をごまかし空腹を満たしていた輩が何名かいたようです。余り大きな声で話せない悪学生共、山田のおばあちゃんの冥福を祈ると同時に心からの謝罪をするべきですぞ…（御存命でしたら御免なさい）当時は様々な特徴がありユニークな先生方ばかりでした。オールバックリーゼントで背の高い法学の森川正晴先生、授業中よくジョークを飛ばしなごやかな授業でした。背が低い真面目一本の英語・ドイツ語の小西国夫先生、テストが多く単位をなかなかくれなかった物理の川島和俊先生、声が大きくいつも元気な地学の鈴木ベーブ先生、電気実験実習の榊茂忠先生、永井先生、寡黙ではにかみ屋の数学村上先生、等たくさん先生方にお世話になり迷惑をお掛けいたしました。40数年前の色々な思いが皆の頭の中を駆け巡り楽しい時間でした。このような機会を与えて頂いた大学当局に対し心から感謝いたします。

その後は会の発会を基に、第1回の「三宅初鶴会」の総会、懇親会の開催に向かって準備することになり新役員も含め14名の役人の総力を結集して取り組むことになりました。開催日時は10月17日(日)と決定しましたが、会場の予約が思うに任せず難航することになりました。よく考えてみると婚礼のシーズンで半年又は1年前より予約が入っているとのことで、ホテルは婚礼優先（利益優先か？）でした。そこであらゆるコネクションを活用してどうにか駅近く便利の良いホテル、「センチュリー21」の予約が取れ一安心（市岡晃彦幹事の尽力による）でした。後は当日何名の参加があるかが重要であり成功の鍵であるとの認識を役員が共有す

ることも大切でした。その為毎月1回ペースで5～6回の役員会を開催、その都度何名連絡がついたか、の確認を取りながら進めていきました。我々役員にとってはこの役員会も又楽しみの一つで、いつも食事をしながら酒も少々入りそれぞれが自由に意見交換を行い、昔話も出たり近況も話したり雑談の方が多かったのも事実です。結果として、51名の出席確認ができましたが、卒業当時の人数の総合計は266名（短大38卒103名、39卒51名、大学41卒112名）その後不幸にも既に他界された同期の数を引くと実に2割以上の参加の意思表示があった訳である。ましてや広島近辺だけでなく遠くは大阪からも参加してくれる人（青木正勝氏）もあり感激でした。

いよいよ10月17日の第1回総会・懇親会である。大学側から鶴 襄名誉総長、鶴 衛理事長、中村正孝先生、川島和俊先生、松田幸一先生、瀬尾 洋さん、寺



本和子さんの出席を頂き、当時の懐かしい話で大盛況でした。その時に特に印象の強かった鶴名誉総長との会話の一部を紹介しますと

私「現在の大学は大変大きくなり当時では想像もつきませんが名誉総長はいつ頃から計画されていたのですか？」

名誉総長「私にもこんなに大きく立派な大学になることは想像できなかったね、いつも、あれが足りない、こんなにしたい、これを作ろう、の連続で今日まで来ました。全て皆さんのお陰です」

とのことでしたが川島先生の説によれば、40年代初めにはすでに現在とほぼ同じ段差のある建物群と広いグラウンドがスケッチとして描かれていたとの話を聞かされ名誉総長の創造力と先見性の鋭さ、実行力、行動力には驚き敬服します。総長もすでに92歳になられたそうです、そこで

私「総長いつまでも元気で100歳まで頑張ってくださいね」

名誉総長「君、たった100迄でいいんか？」

大変失礼なことを申し上げます。懇親会もなんとか無事に済み20名位で2次会をやりましたが、なんとか成功裡に終わったことで気の緩みが出て酒量がオーバーし二日酔いであったことを申し添えておきます。なお、三宅初鶴会より広島工業大学へ今回の設立記念として「ツガ（栂）の木」（樹高7m）を贈呈しましたのであわせて報告いたします。

最後になりましたが新しく会長に選任された可知英樹君、副会長の河野信義君、幹事長の村田弘志君、会計の湯尻 照君には何かと無理をお願いし、度々時間を割いて頂き協力してくれてありがとう。幹事の鍛冶古秀荘君、河崎 誠君、市岡晃彦君、角田忠司君、森田善康君、山本希生君、森本房義君、中村滋男君、会計監査の砂田謙二君、私の段取りの悪さで何度も呼び出し、会議を重ねたが気持ちよく応じて頂き、感謝、感謝…可知新会長のもと第2回総会へのご協力をお願いして筆をおきます。

平成17年1月 吉日

# 第39回 2004年度（平成16年度）定期総会の報告

平成16年度広島工業大学同窓会総会が、4月17日(土)、鯉城会館（県民文化センター）にて開催されました。

総会は、横山会長の挨拶で始まり、式次第に則り議案が審議されました。

議案は、平成15年度活動報告、平成15年度会計報告、平成15年度会計監査報告、会則改正、続いて平成16年度役員選出、平成16年度活動方針案、平成16年度予算案の順に審議されました。

役員改選においては、昨年に引き続き会長に横山健次および副会長に荒谷寿一、井手俊彦、松本雅行の3名が選出されました。また、新たに副会長として江郷道生（S43年電子卒）、幹事長として久保川淳司（S62年電子卒）が選出されました。その他平成16年度の役員は別記のとおりです。

総会後の懇親会は、母校より学長先生他多数の先生方のご参加をいただき、大変盛況でした。会は藤原弥

寿子さん（経営卒）の司会のもとで進められ、グリークラブの美しい歌声などが披露されました。

総会に先立ち開催された総会記念講演会では、講師に広島工業大学 共同研究機構 機構長 米沢良治先生をお招きし「高齢化社会とエレクトロニクス」という題目で1時間にわたり講演をおこなっていただきました。熱心に聞き入る参加者達が多く見られました。



## 平成16年度 同窓会役員

支部欄…地域支部代表者

氏名	卒業年	学科	氏名	卒業年	学科	支部
相談役 中原 重男	41	電子	幹事 西田 弘展	45	経営	
永見 憲吾	42	電子	広重 隆	45	"	
道田 憲治	45	経営	近宗 貴	45	"	
会長 横山 健次	44	建築	松広 斎	48	"	
副会長 荒谷 寿一	47	土木	加藤 伸吾	H 4	"	
井手 俊彦	43	機械	込山 篤史	H 13	"	
松本 雅行	42	電子	脇坂憲太郎	H 9	環テ	
江郷 道生	43	電子	小川 博道	H 10	"	
幹事長 久保川淳司	62	電子	大橋 裕輔	H 15	"	
副幹事長 桜井 元康	63	機械	上山 和宏	H 15	環情	
鈴村 文寛	62	電子				
会 計 重広 孝則	46	電子				
河野 和宏	60	建築	評議員 折田 昌弘	38	電子	島 根
会計監査 藤原弥寿子	61	経営	長弘 光高	41	"	山口周南
高瀬 明	49	機械	山口 克徳	45	"	
書記 岡本 信義	57	電子	隅本 聖	46	"	
中畑 佳二	H 5	経営	風本 理	51	"	愛 媛
			森本 房義	41	電気	
			打田 博之	44	"	名古屋
幹事 村田 弘志	41	電子	落久保 晃	56	"	
川畑 敬志	42	"	坂本 幸雄	45	機械	
片山剛之丞	42	"	峠 勝義	46	"	
玉野 和保	44	"	内田 和博	46	"	
沖根 光夫	44	"	松村 拓典	51	"	
湯尻 照	39	電気	中田 敬司	58	"	
猪上 憲治	42	"	和田 一雄	47	土木	第一
小川 英邦	56	"	山本 良仁	47	"	長崎
中西 助次	43	機械	山田 忠秀	48	"	福岡
小西 正明	43	"	林 憲治	H 10	"	
森滝美治郎	43	"	馬場 富蔵	44	建築	
中村 省三	46	"	加藤 恵子	45	"	
小池 利明	52	"	梶山 孝之	49	"	
水落 健治	61	"	森京 正	53	"	
松岡 泰弘	63	"	山野 正晴	54	"	
中村 繁治	H 7	"	西山 賢	57	"	
伊藤 秀敏	45	土木	新保 栄一	45	経営	
菅 雄三	50	"	指山 紹男	48	"	佐賀
大林 眞	55	"	堤田 英治	49	"	
村中 昭典	59	"	藤川 信義	59	"	
高崎 健二	H 4	"	豊島 永子	H 13	環テ	
羽原 徹	H 5	"	田中 耕介	H 15	環情	
菅原 辰幸	44	建築	橋岡 信義	H 15	"	
手越 義昭	49	"	濱田 寿広	H 15	"	
植村 邦彦	56	"	間庭 達也	H 15	"	

# 平成15年度 会計報告

自 平成15年4月1日  
至 平成16年3月31日

(単位：円)

## 〈収入の部〉

項 目	予 算	決 算	差 異
平成14年度繰越金	6,996,935	6,996,935	0
入 会 金	3,423,000	3,390,000	△33,000
終 身 会 費	19,782,000	19,062,000	△720,000
総 会 会 費	500,000	745,000	245,000
預 金 利 息	7,000	155	△6,845
雑 収 入	50,000	45,670	△4,330
合 計	30,758,935	30,239,760	△519,175

## 〈支出の部〉

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 印刷製本費	3,400,000	2,597,175	802,825	
2 会 合 費	1,600,000	1,682,118	△82,118	
3 支 部 費	1,200,000	762,000	438,000	
4 助 成 費	1,400,000	632,104	767,896	※残は奨学金基金に繰入
5 卒業記念品代	600,000	556,320	43,680	
6 通信運搬費	5,600,000	4,340,744	1,259,256	
7 消耗品費	1,200,000	1,188,544	11,456	
8 旅費交通費	1,600,000	565,600	1,034,400	
9 役員手当	35,000	35,000	0	
10 委託費	1,700,000	1,091,390	608,610	
11 保守費	100,000	0	100,000	
12 福利費	30,000	16,887	13,113	
13 慶弔費	150,000	0	150,000	
14 貸借料	100,000	6,500	93,500	
15 備品費	100,000	0	100,000	
16 雑支出	70,000	47,160	22,840	
17 同窓会基金繰入金	5,000,000	5,000,000	0	
18 奨学金基金繰入金	900,000	1,667,896	△767,896	※
19 記念事業準備金	5,000,000	5,000,000	0	
20 予備費	973,935	0	973,935	
21 次年度繰越金	0	5,050,322	△5,050,322	
合 計	30,758,935	30,239,760	519,175	

## 〈基金の部〉

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	残 高
平成14年度繰越金	157,305,109		
同窓会基金繰入金	5,000,000		
記念事業準備金繰入金	5,000,000	50,000	
預 金 利 息	2,667		
合 計	167,307,776	50,000	167,257,776

## 〈奨学金の部〉

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	残 高
基 金	28,261,131		
奨学金基金繰入金	900,000		
助成費剰余金	767,896		
預 金 利 息	478		
奨 学 金		900,000	
寄 付 金	777,150		
合 計	30,706,655	900,000	29,806,655

## 平成16年度 活動方針

- (1) 会誌の発行
- (2) 同窓会名簿のメンテナンス
- (3) ホームページの活用
- (4) 支部活動（支部との連携）
- (5) 在学生援助
- (6) 同窓会業務の大学との連携
- (7) 同窓会40周年記念事業に関すること
- (8) その他、同窓会の発展に必要なと思われる事業

## 平成16年度 予 算

### 〈収入の部〉

(単位：千円)

項 目	予 算 額	備 考
平成15年度繰越金	5,050	
入 会 金	3,318	3,000円×1,106名
終 身 会 費	19,602	4月現在 4年生1,147名(95%) 工学部831名 環境学部316名 18,000円×1,089名 1,147×0.95
総 会 会 費	500	5,000円×100名
預 金 利 息	5	
雑 収 入	30	
合 計	28,505	

〈支出の部〉

(単位：千円)

	科 目	16年度予算案	15年度決算	備 考
1	印刷製本費	3,000	2,597	会誌 29,000部
2	会 合 費	1,600	1,682	総会 1,000 連絡協議会 100 役員会 350 会費 150
3	支 部 費	1,200	762	地域発足 50×1=50 職場 30×2=60 地域援助 30×12=360 通信費援助 730
4	助 成 費	1,400	632	大学祭 500 体育祭 300 クラブ 600
5	卒業記念品代	600	556	
6	通信運搬費	4,700	4,341	会誌@140×27,500=3,850 郵便・電話 850
7	消耗品費	1,200	1,188	名簿メンテ 300 事務用品 200 封筒・払込通知票 700
8	旅費交通費	1,200	566	
9	役員手当	35	35	会計 10 会誌 5 会報 5 支部 5 名簿メンテ 5 ホームページ 5
10	委託費	1,500	1,091	
11	保守費	100	0	
12	福利費	30	17	
13	慶弔費	150	0	
14	賃借料	100	7	
15	備品費	100	0	
16	雑支出	70	47	
17	同窓会基金繰入金	5,000	5,000	
18	奨学基金繰入金	900	1,668	
19	記念事業準備金	5,000	5,000	
20	予 備 費	620	0	
21	次年度繰越金	0	5,050	
	合 計	28,505	30,239	

会則改正

(現行) 広島工業大学同窓会会則

第1章 第4条

- (1) 集会
- (2) 会員相互の連絡並びに共助に関する事
- (3) 会誌、会報及び会員名簿の発刊
- (4) 母校に対する精神的・物質的援助
- (5) その他本会の目的達成に必要なこと

第2章 第5条

- (1) 正会員 広島工業大学工学部、環境学部、同大学院工学研究科及び広島工業短期大学の卒業生で終身会費を納入した者
- (2) 準会員 広島工業大学工学部、環境学部、同大学院工学研究科の在学生在で入会金を納入した者及び役員会で適当と認められた者
- (3) 特別会員 母校教職員及び旧教職員

第5章 第11条

会議は定期総会、臨時総会及び役員会とする。

第5章 第12条

総会は本会の最高議決機関で、定期総会は毎年4月に開く。

- 2 臨時総会は役員会が必要と認めるとき会長が召集する。

広島工業大学同窓会内規

旅費規程 第4条

支給された費用の領収は様式(1)をもって行う。

(二) 慶弔費規程 第5条

鶴学園理事・広島工業大学教職員の逝去に対する香典・花輪・生花等の取扱いに関する規程は、別表に掲げるものを基準とし、会長と幹事長その他関係者が協議のうえ決定し、お供えするものとする。

- 備考
- 1 学園役員は、理事以上の役職の者を言う。
  - 2 表の区分は現職によるものとする。なお、現職以外および特別な場合が生じたときはこの限りでない。
  - 3 会長名の弔電をうつことができる。

(改正後) 広島工業大学同窓会会則

第1章 第4条

- (1) 《現行 (1) と同じ》
- (2) 《現行 (2) と同じ》
- (3) 会誌の発刊に関する事。
- (4) 会員名簿に関する事。
- (5) 母校に対する支援。
- (6) 《現行 (5) と同じ》

第2章 第5条

- (1) 正会員 広島工業大学、同大学院及び広島工業短期大学の卒業生で終身会費を納入した者。
- (2) 準会員 広島工業大学、同大学院在学生在で入会金を納入した者及び役員会で適当と認められた者。
- (3) 《現行 (3) と同じ》

第5章 第11条

会議は定期総会、臨時総会、役員会及び幹事会とする。

第5章 第12条

総会は本会の最高議決機関で、定期総会は毎年1回開催する。

- 2 《現行 2 と同じ》

広島工業大学同窓会内規

旅費規程 第4条《削除》

(二) 慶弔費規程 第5条

同窓会貢献者、鶴学園理事・広島工業大学教職員の逝去に対する慶弔は、会長と幹事長が協議の上、決定する。

《別表及び備考1、2、3は削除》

別 表

区 分	香 典
学園役員 および 教 職 員	10,000～20,000円

# 支部からのメッセージ

## 募集します

今回、本頁は「支部からのメッセージ」欄としていますが、次号より広島工大OBが集まり、色々な活動をされているグループ（同期会、地域、ボランティア、趣味のグループなど支部以外のグループ）を紹介していきたいと考えております。そこで、グループからの投稿記事を募集いたします。文字数、内容などに決まりはありません。（写真のみでも構いません）ので、どしどしお寄せください。なお、次号の原稿締め切りは、平成18年1月末の予定です。

徳島県支部 支部長

谷本 義明 昭和45年 建築学科卒

白球が青く澄み切った大空に吸い込まれ、遙か彼方のピンに向かって真っ直ぐ落ちていく、12月最初の土曜日と言うのに小春日和の忘年コンペ。ため息、嬌声、実にやかましい。

私たち広島工大徳島県支部の親睦ゴルフはもう彼これ20年以上続いております。その間には色々のことがありました。

中でも総長、学長を迎えてのコンペ、また広島への遠征等は私たちにとって特に楽しい思い出となっております。支部員のA氏にとっては特に感動的な一日がありました。

あれは東広島カントリークラブで大学の教職員の方々との親睦ゴルフコンペのときでした。午前中総長と一緒にまわったA氏のあまりにも不甲斐ない寄せとパットに総長が昼食も食べずに一生懸命手取り足取り教えています。私達はその光景を食事しながら眺めていました。ゴルフに対する意欲はあるが素質がもうひとつという彼を私達はチョコを持って厳しく育てていましたが、総長は違っておりました。目の前に恵まれない者がおれば見過ごし出来ない、あれこそ愛と私達一同感心したものです。その後本人の努力もあって平成16年忘年コンペで見事優勝いたしました。どのコンペの優勝者もその人のエピソードがあり、優勝への道のりが遠ければ遠いほど思い出を沢山持っております。私も今収集中です。

昨年は、ひと夏に10個の台風が上陸、地震そして悲しい事件事故と災いの多い年でした。我が徳島県にも大きな災害をもたらしました。そして相変わらず世の中、景気や人間関係の厳しい時が続いております。私達メンバーひとり一人にとっても色々な事情を抱えておりますが、このOB会の職種や年代を超えた同窓の付き合いは一服の清涼剤となっております。谷深けれ

ば深いほど山は高いと申します。今年は楽しく幸せの多い日となることを期待します。

最後に私たちの支部活動は今のところ、この年に4回のゴルフコンペと夏の総会、忘年会だけです。各県のOBの皆さん。いつの日か広島で支部対抗ゴルフが開催され皆さんと共に青空の下ゴルフが出来ることを希望します。

島根県支部 支部長

折田 昌弘 昭和38年 電子工学科卒

## 「島根県にU・Iターン」



島根県支部長と言いながら広島県三次市出身の私は昭和40年に松江に事務所開設のため転勤して以来居座ってしまった、いわゆる「Iターン」です。

仕事は営業で、広島勤務の時は全く成績が上がり無かったのですが、松江に赴任してからは不思議に成績が上がり、主力製品は全メーカーの80%を締めるまで達成しました。このことが幸か不幸か？島根県人に成るきっかけでした。島根県の人と相性が合ったのでしょうか。「島根県人以上の広島県人？」だと言われるように



成っていました。

定年後の現在は仕事の中で得た知識や、全国を出張のついでに見てきた知識を生かして、ボランティア活動として鳥根県の為に奔走しています。其の中の一つが支部長の仕事です。

鳥根県支部は平成3年設立以来14年になり、支部総会を松江市・出雲市・大田市・浜田市で実施し、当大学の先生方に講演をして頂きました。工大には多数立派な先生が居られ、工大には鳥根県にも目を向けて頂くと共に、OBの方々には素晴らしい工大を再認識頂くことと教養を高めていただきたく支部長の役目として講演を計画しました。

支部総会は設立以来9回開催しましたが、多分に漏れず参加者の減少傾向にあります。原因は努力不足によるマンネリズム化も有るでしょうが、鳥根県は東西230Km有り、交通機関が山陽側と比べ不便です。従って石見部（大田市以西）での開催も2回開催しましたが、数年前から教育懇談会（松江市で開催）と同日にすると松江会場になってしまうと言うジレンマが発生してしまい今後の大きな課題です。

毎年教育懇談会の支部長挨拶で、「卒業生を鳥根県にU・Iターンさせて下さい」とお願いしています。小西先生作成の「県別卒業生数」の数字に寄ると鳥根県は累計で02年現在546名になっていますが、卒業生一覧表の名簿を分析すると県内在住者（Uターン）は2／3位の約360名と思われます。1／3は流出している事になります。

昨年の教育懇談会の会場で大学側から「鳥根県から求人が来ない」と意見が有りました。一昨年まで鳥根県は求人倍率が全国トップクラスの旨を説明し、「営業に来て下さい」とお願いしました。私の営業経験から、目的達成の為には求人と言う注文を取りに行かねばならないと思います。

就職先も求人の多い都会や大手企業中心でなく、地方（広島から見て）にこそ目を向けるべきです。人・物・金は都会に向かうのが自然の流れです。都会の若者は地方に来たがらないのです。数字でも出ています。前述の県別卒業生数の資料から分析して見ました。95年から02年までの推移から東京を中心とする首都圏からの入学者が激減し、逆に地方と見る鳥根県・高知県・徳島県など人口の少なき県からは増加しており、特に鳥根県は県人口に対する入学者数が全国4位なのです。鳥根県が工大に此れだけ貢献している（逆に人

口減少は大学の所為か？）。従って地方に住めばその子息はまた工大に帰ってくる確率が大であると証明しています。

それに加えて大学は教育の立場だけでなく、前述した通りの就職先や、産学共同研究・講演等による指導を通じて、地域や企業等を左右する力が有り、特に鳥根県支部としても母校に期待する次第です。

最後に鳥根県在住の卒業生の皆様、総会にはぜひ参加頂き母校及び鳥根県の発展の為に話し合おうでは有りませんか。私は大学との掛け橋の役目も有り是非ご意見を受け賜りたいと思っております。

愛媛県支部 副支部長

梅野 俊明 昭和51年 電気工学科卒

## 愛媛県支部の現状



2005年が始まり今年こそはと思いを馳せておりますが、ここ何年も続く不況のせいで四苦八苦する日々が続いております。工業大学出の性なのか技術面では頑張れるのですが、世渡りに苦勞しています。皆さんは頑張っていることでしょう。

愛媛県支部は、平成2年に支部の発会活動を開始し、翌3年に県支部の発会式をして今日に至っております。去年の11月で会も14回を数えました。毎年、大学の父兄懇談会と期日を合わせ、大学の先生方にも我々の懇親会に多数出席して頂き大いに同窓生と親交を交わして頂いております。

毎年の総会と懇親会を続けさせてもらっているのを、有り難く思っております。我が愛媛県の工大出身者は名簿上広島について多い方ですが、如何せん就職口が少なくこちらの地元へ帰って就職する人が少ないようです。又、愛媛県の地理上の都合により東予、中予、南予と分かれており圏域を超えて集うのに支障が有り、



なかなか圏域外の人との交流がままなりません。

我が松山を中心とした、中予の人が多数となっております。

先年、公務員の接待問題がクローズアップされてから、公務員の方々の同窓会への出席がままならない状況が続く、残念な環境になっているのも現状です。

毎年の開催で多少のマナー化も懸念されますが、多数の出席者に感謝しております。

これといって大きな行事を同窓会としては行ってきてはおりませんが、同窓会懇親会の開催以外に、平成9年愛媛県で開催された広工大シンポジウム「伊予の国から、宇宙をさぐる」を手伝わせて頂いた事などもありました。

我々が在学していた時代より、どんどん大学の内容が進化しているのを実感した次第です。各科の名称もすっかり変貌してしまい、理解に苦勞するばかりです。こういった事にも時代を感じます。

大学の先生方との同窓会懇親会では、大学では見られなかった先生方の気さくで人間味のある人柄に接する事が出来、楽しいひとときを過ごしております。

懇親会アトラクションで、ビンゴゲームやじゃんけん大会を取り入れたり、若い人たちの参加を促すために多少の工夫をしてみたりと、毎年の同窓会開催に尽力しているところです。

最後に、毎年我が同窓会へご出席頂いています先生方への感謝と同窓会と共に大学の益々のご発展を願っております。

熊本県支部 支部長

山下 忠道 昭和48年 土木工学科卒業

## 熊本県支部報告

04年を振り返ると、自然環境では、過去最多の10個の台風の日本上陸、新潟県中越地震、年末のスマトラ

沖地震等の大規模災害の多い年でした。台風の日本上陸が多くなった理由として、地球温暖化が原因で海面の温度が上昇し台風の発生する地域が北方向に移動したためではないかという学者もいます。つまり、熱帯地域が寒冷な北地域へ張り出してきているということです。この地球温暖化は、昨年の異常気象をはじめとして地球環境に様々な悪い影響を及ぼします。この地球温暖化を私たち各々が喫緊の問題として捉えて、具体的には、冷暖房の温度を控えて省エネを図ることや自動車の使用を控えたり、マイカーを公共交通機関に乗り換えたりすることにより二酸化炭素の発生を抑えるなど様々な側面から環境に負荷を与えない小さな取り組みを積み重ねる時期にきているように思います。

また、社会・経済の分野では、地方分権や三位一体の改革が「国の主動」、「都市の理論」のもとに進められたり、定率減税の削減など地方に住む人や一般庶民にとっては、たいへん厳しい年であったと思います。

今年は酉年です。大いなる飛躍の年にしたいものです。

さて、支部の現状を報告します。今年は第16回目の同窓会を新年会のかたちで1月に開催する予定ですが、この同窓会は、平成2年に有志数名で立ち上げました。その後、いろいろな手段で会への参加を呼びかけましたところ、努力の甲斐あって、平成5年には、熊本県支部に格上げとなりました。現在、熊本県在住者は、50数名、毎年往復はがきにて参加の有無を聴取していますが返信があるのは、30名程度です。その内、新年会への参加者は、15~16名で、10数年来同じ顔ぶれです。昨年からは、同窓の皆様が気軽に参加できるよう一次会から居酒屋で開催しています。今まで参加頂けなかった方にも、是非参加して頂き、酒を酌み交わしながら学生時代のことや世間話などどのようなことでもかまいませんので語り合いたいと思っています。

昨年の支部のトピックを紹介します。アマ将棋界のことですが、学生時代から数回の全国アマチャンピオンに輝いている田尻隆司氏が熊本県アマ棋王戦で7度目のタイトルを獲得し、県では史上初の永世県アマ棋王の称号を与えられました。同窓会としても、共に喜びたいと思います。

最後になりましたが、同窓の皆様とご家族のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の支部報告にかえさせていただきます。

### 平成16年度支部総会・懇親会開催

高 知	平成16年6月26日 18:00～ (サンライズホテル)	愛 媛 県	平成16年11月13日 18:30～ (シャトーテル松山)
広 島 第 一	平成16年7月10日 18:00～ (三次ロイヤルホテル)	長 崎 県	平成16年11月20日 18:00～ (観光ホテル 八千代)
山 口 周 南	平成16年10月23日 18:30～ (ホテルサンルート徳山)	広島市水道局	平成16年5月14日 18:30～ (八丁堀シャント)
岡 山	平成16年10月30日 17:30～ (第一イン岡山)	中 電 工	平成16年9月11日 17:30～ (広島工大広島校舎)

### 同窓会地域・県支部の支部長および連絡先

#### 〈地域支部〉

A 1 関東支部 支部長 上 村 忠 (45年電子卒) 〒333-0811 川口市戸塚5-18-21 (048) 295-8059 日立公共システムエンジニアリング(株) (03) 5632-1200	〒889-1901 北諸県郡三股町樺山4227-5 (0986) 52-0952
A 2 岩国支部 支部長 銀 岡 喜 則 (46年土木卒) 〒740-0305 岩国市大字二鹿51 (0827) 47-2757	B 5 島根県支部 支部長 折 田 昌 弘 (38年電子卒) 〒690-0854 松江市南平台18-2 (0852) 26-3352
A 3 近畿支部 支部長 馬 頭 睦 夫 (42年電子卒) 〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-17-1-102 (06) 326-3691 木村化工機(株) (06) 488-2508	B 6 愛媛県支部 支部長 風 本 理 (51年電子卒) 〒790-0011 松山市千舟町7-8-2 (株)ホクト (089) 932-2345
A 4 山口周南支部 支部長 長 弘 光 高 (41年電子卒) 〒744-0027 下松市南花岡1-15-6 (0833) 43-4891 二葉電工(株) (0834) 25-1065	B 7 岡山支部 支部長 村 上 侑 (38年電子卒) 〒700-0985 岡山市厚生町2-2-9 テイクコ(株)内 安田邦夫 (086) 232-0311
A 5 ミシガン支部 支部長 寺 本 正 文 (51年機械卒) 412 RICHARDS DRIVE MONROE,MI. 48162 (734) 241-1482	B 8 大分県支部 支部長 平 川 敏 郎 (45年土木卒) 〒870-0000 大分市大字三芳1239-1 協同エンジニアリング(株) (0975) 45-2111
A 6 名古屋支部 支部長 打 田 博 之 (44年電気卒) 〒442-0876 豊川市中部町2-2-26 (0533) 84-0971 新東プラスチックカンパニー (0533) 93-3251	B 9 熊本県支部 支部長 山 下 忠 道 (48年土木卒) 〒862-0920 熊本市月出3-1-39 空間共同社 福島真一 (096) 381-7316
A 7 広島第一支部 支部長 和 田 一 雄 (47年土木卒) 〒739-1804 高田郡高宮町大字房後125-20 (株)和田組 (0826) 57-1314	B 10 鹿児島県支部 支部長 井 料 征 (43年電気卒) 〒890-0086 鹿児島市日之出町43-21-201 田之上 和博 (099) 258-6334
〈県支部〉	B 11 福岡支部 支部長 山 田 忠 秀 (48年土木卒) 〒839-0863 久留米市国分町1648-7 (株)クスコ (0942) 21-0021
B 1 長崎県支部 支部長 山 本 良 仁 (47年土木卒) 〒852-8152 長崎市住吉台2-2-201 (095) 847-7998	B 12 鳥取県支部 支部長 仙 田 定 雄 (44年建築卒) 〒682-0816 倉吉市駄経寺町60-1 寿土木(株) 小木高壽 (0858) 22-4858
B 2 徳島県支部 支部長 谷 本 義 明 (45年建築卒) 〒774-0045 阿南市宝田町平岡813 (0884) 22-3162	B 13 高知支部 支部長 田 中 顕 一 (44年電子卒) 〒781-0270 高知市長浜134-42 川淵 伸 (0888) 42-7230 (株)テレビ高知 川淵 伸 (0888) 80-1115
B 3 香川支部 支部長 田 尾 浩 一 (49年経営卒) 〒762-0011 坂出市江尻町483-16 (株)石垣 資材部 (0877) 44-4111	B 14 佐賀支部 支部長 指 山 紹 男 (48年経営卒) 〒840-0212 佐賀郡大和町池上3595木下 A P 202 (0952) 62-4008
B 4 宮崎県支部 支部長 谷 口 忠 光 (43年機械卒)	

# 広島工業大学同窓会地区、県、職場支部の結成状況

(平成17年2月現在)

〈支部結成〉 〈区分〉 〈支 部 名〉

A 1)	昭和44. 7. 13	地区	関東支部
A 2)	昭和50. 4. 1	地区	岩国支部
A 3)	昭和53. 9. 20	地区	近畿支部
A 4)	平成 4. 4. 18	地区	山口周南支部
A 5)	平成 4. 8. 19	地区	ミシガン支部
A 6)	平成 6. 5. 28	地区	名古屋支部
A 7)	平成 7. 6. 30	地区	広島第一支部
B 1)	昭和54.10.20	県	長崎県支部
B 2)	昭和54.12. 1	県	徳島県支部
B 3)	昭和54.12. 2	県	香川支部
B 4)	昭和57. 6. 19	県	宮崎県支部
B 5)	平成 3. 3. 16	県	島根県支部
B 6)	平成 3.11. 2	県	愛媛県支部
B 7)	平成 4.10.31	県	岡山支部
B 8)	平成 4.11. 7	県	大分県支部
B 9)	平成 5. 6. 12	県	熊本県支部
B10)	平成 5.11.27	県	鹿児島県支部
B11)	平成 6.10.15	県	福岡支部
B12)	平成 6.12.10	県	鳥取県支部
B13)	平成 8. 3. 16	県	高知支部
B14)	平成 8.10. 5	県	佐賀支部
C 1)	昭和54. 4. 22	職場	ジューキ広島製作所
C 2)	昭和54. 4. 22	職場	中国電機製造(株)
C 3)	昭和54. 4. 22	職場	大協(株)
C 4)	昭和54. 4. 22	職場	中国電力(株)
C 5)	昭和54. 4. 22	職場	コベルコ建機(株)
C 6)	昭和54. 4. 22	職場	三建産業(株)
C 7)	昭和56. 9. 26	職場	菱電商事(株)
C 8)	昭和57. 3. 20	職場	(株)誠和
C 9)	昭和57. 6. 5	職場	ミヨシ電子(株)
C10)	昭和57. 6. 5	職場	マツダ(株)
C11)	昭和57.11.27	職場	広島信用金庫
C12)	昭和59. 1. 21	職場	(株)佐竹製作所
C13)	昭和60. 3. 1	職場	広島市役所
C14)	昭和61. 6	職場	菱明技研(株)
C15)	昭和61.10	職場	廿日市市役所
C16)	昭和61.11	職場	(株)中電工
C17)	昭和62.12.12	職場	シギヤ精機製作所
C18)	昭和63. 5. 13	職場	西川化成(株)
C19)	昭和63. 6. 27	職場	広島市消防局
C20)	平成 1. 4. 22	職場	(株)エクセディ
C21)	平成 2. 4. 21	職場	ホーコス(株)
C22)	平成 2. 7. 27	職場	福山市役所
C23)	平成 2. 7. 27	職場	(株)ヒロテック
C24)	平成 3. 8. 11	職場	(株)コンセック
C25)	平成 4. 2. 8	職場	(株)日本製鋼所
C26)	平成 4. 3. 7	職場	(株)ソルコム
C27)	平成 4. 6. 26	職場	カワダ(株)
C28)	平成 6.12.18	職場	ヒルタ工業(株)
C29)	平成 7. 3. 31	職場	富士通テン(株)
C30)	平成 7. 6. 30	職場	日本電設工業(株)
C31)	平成 7. 9. 29	職場	(株)荒谷建設コンサルタント
C32)	平成 8. 7. 19	職場	(株)熊平製作所
C33)	平成10. 7. 4	職場	川鉄建材(株)
C34)	平成13. 2. 17	職場	東芝エンジニアリング(株)
C35)	平成14. 5. 16	職場	広島市水道局
C36)	平成14. 9. 28	職場	豊国工業(株)

- (A) 地区支部…………… 7  
 (B) 県 支 部……………14  
 (C) 職場支部……………36

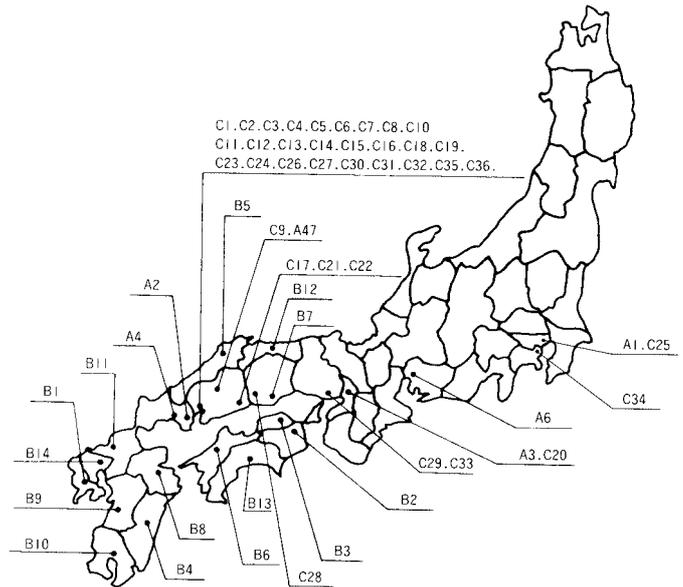


図1 支部結成のようす

地区・県支部 20名以上  
 職場支部 10名以上

## 支部結成のために必要とされる手続き

- 1) 支部結成発起人 (氏名・卒業年度・学科など)
- 2) 支部所属会員名簿 (同上)
- 3) 支部規約案 (見本があります。参考にしてください。)
- 4) 支部事務局となる連絡場所 (代表者・連絡先住所電話番号など)
- 5) 正式に支部として承認されましたら、支部規約にもとづき支部長等役員名簿を、本部に届ける。

### 〈支部結成のための連絡先〉

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 広島工業大学同窓会本部事務局  
 TEL(082)921-3121 FAX(082)922-1925



## 平成16年度 議 事 録

### 幹事会

#### ◎第1回幹事会

平成16年8月31日(火)

審議事項 1. 同窓会40周年について

#### ◎第2回幹事会

平成16年11月18日(木)

審議事項 1. 同窓会40周年記念について  
2. 同窓会奨学金について  
3. 同窓会個人情報保護ガイドラインについて  
4. 同窓会誌の目次案について  
5. 平成17年度総会について

### 役員会

#### ◎第1回役員会

平成16年9月25日(土)

審議事項 1. 同窓会40周年記念事業について  
2. 奨学金について  
3. 平成16年度大学との連絡協議会について  
4. その他  
1) 同窓会費の取扱について  
2) 台風被害について  
報告事項 1. 卒業式へOBホームカミングについて

#### ◎第2回役員会

平成16年12月4日(土)

審議事項 1. 同窓会40周年記念について  
2. 同窓会奨学会について  
3. 同窓会個人情報保護ガイドラインについて  
4. 同窓会誌の目次案について  
5. 平成17年度総会について

## 平成16年度 在学生援助

下に示すクラブは、1月現在までに申請があり、規定に従い援助したクラブ名と援助額です。

### 《体育系クラブ》

自動車部	西日本学生ジムカーナ選手権大会	11,000円
〃	全日本学生ダートトライアル選手権大会	38,000円
軟式野球部	全日本学生軟式野球選手権大会	52,000円
ソフトボール部	西日本大学ソフトボール選手権大会	46,000円

### 《文科系クラブ》

茶道部	霜月茶会	20,000円
映画研究部	カンセイ展	10,000円

## 訃 報

同窓生一同、心からご冥福をお祈りいたします。

斎藤徳行先生 元機械工学科教授	平成16年4月4日	享年81歳
下村義治先生 元機械システム工学科特任教授	平成16年11月28日	享年67歳
木村恵雄先生 元土木工学科教授	平成17年1月	享年90歳

ご逝去の旨、連絡をいただいた会員の方々です。謹んでお祈りいたします。(敬称略)

361072 下西昭次	403194 能田省三	平成15年7月29日
371087 南本長年	平成16年9月	443034 瓶井希幸
541108 光平 芳	平成15年12月4日	443175 岡林美知夫
372904 梅本教里	平成16年1月17日	523016 恵木一之
382068 多賀文彦	平成15年4月29日	平成14年9月
422064 高橋健夫	平成13年2月	91C187 三谷直史
432141 森本啓司		平成16年9月7日
393064 小山孝太郎	平成14年12月14日	514071 杉村基春
		平成16年2月2日
		415242 安田侑司
		平成15年8月20日
		435159 岩本洋二
		平成15年1月27日
		495211 田中壮一
		平成15年4月23日

## 広島工業大学同窓会個人情報保護のための ガイドライン

### 1. ガイドライン制定の目的

広島工業大学同窓会（以下「同窓会」という）は広島工業大学卒業生の基本的人権の尊重とプライバシー保護の観点から、同窓会が利用する卒業生の個人情報を適正に取り扱うために、「広島工業大学同窓会個人情報保護のためのガイドライン」をここに定める。

### 2. 用語の定義

個人情報とは、特定の個人が識別できる単一または複合の情報であり、文書、図画、写真、コンピュータ・メディア等に記録されたものをいい、同窓会が活動目的を達成するために収集、生成した個人情報を取り扱うものとする。

### 3. 個人情報の収集

①個人情報の収集は、同窓会の目的を達成する上で、必要最小限度の範囲で収集するものとする。

②個人の思想、信条、信仰、心身の状況、資産、社会的状況などに関する情報は収集してはならない。ただし、明らかに卒業生個人の利益になる特別の理由がある場合にはこの限りではない。

③個人情報の収集にあたっては、収集の目的を具体的に明示しなければならない。

④個人情報は、適法かつ公正な手段で収集されなければならない。

⑤個人情報は、本人から収集することを原則とする。ただし、次の各号の一に該当する場合は、本人以外の者、機関等から収集することができる。

- ・本人の同意があるとき。
- ・本人との連絡が途絶えたとき。
- ・個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。

⑥同窓会活動の結果、生成する個人情報についても、生成する目的を明示し、適正な方法で生成するものとする。

### 4. 個人情報の管理

①同窓会は、個人情報の保護と正確性を維持するため、必要な措置を講じなければならない。

②同窓会は、個人情報の漏洩、改ざん、滅失を防止するため、適切な保護体制を設備しなければならない。

③同窓会は、個人情報の収集、利用、提供、保管に適正な手続きを定めることができる。

### 5. 個人情報の利用

①個人情報の利用は、同窓会の目的を達成するために必要な場合で、収集の目的の範囲内でなければならない。

②同窓会以外の機関が個人情報を利用する場合には、その利用目的を明らかにし、その範囲内で利用しなければならない。

③収集目的の範囲を越えているときでも、次の各号の一に該当する場合は、同窓会は個人情報を利用することができる。

- ・本人の同意があるとき。
- ・個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。

### 6. 個人情報の提供

①提供とは、同窓会が管理する個人情報を、同窓会以外の機関、団体、または本人以外の個人等に渡すことをいい、複写、口頭による伝達を含む。

②個人情報の提供は、同窓会の目的を達成するための活動に密接な関連があると認められる場合で、提供する個人情報の内容、目的、提供先を明示して、本人の同意を得て行うものとする。

③同窓会は、次の各号の一に該当する場合に限り、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することができる。

- ・法令の定めのあるとき。
- ・個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要するとき。
- ・明らかに本人の利益となるとき。

④同窓会は、次の各号に該当する用途に個人情報を提供してはならない。

- ・営利目的の利用について。
- ・政治活動の利用について。
- ・宗教活動の利用について。

### 7. 個人情報の開示

①開示とは、本人の個人情報の内容が事実に基づいて正しく記録されているかを、本人が確認するために、その個人情報を本人に提示することをいう。

②同窓会は、保有する個人情報について、個人情報の種類、収集、生成の目的、保管期間等を明らかにしなければならない。

③卒業生は、本人の個人情報の内容に関して同窓会にその開示を請求することができる。

④卒業生は、本人の個人情報に関して明らかに事実と異なる場合、同窓会に訂正を請求できる。

### 8. 個人情報のコンピュータ処理

①個人情報のコンピュータ処理を行うときには、入力、参照、更新、削除等の権限を明らかにし、漏洩、障害、事故等に対する適切な安全対策を講じなければならない。

②個人情報のコンピュータ処理を外部に委託する場合には、機密保護、安全確保のため契約書を取りかわす等の適切な措置を講じなければならない。

### 9. ガイドラインの運用

このガイドラインの運用にあたって、解釈、取り扱い、適用などに疑義が生じた場合、同窓会は調査、検討を行い、適切な改善策を講じなければならない。

付則

①このガイドラインは平成16年12月5日から実施する。

## ご 注 意 く だ さ い

同窓会あるいは広島工大就職部と名乗り、勤務先などを尋ねる電話がかかっているようです。

同窓会および大学では、電話により個人データの調査は行っておりません。

また、平成18年は同窓会設立40周年および鶴学園創立50周年にあたります。

このことに関連し、同窓会や学園、大学に依頼されているかのような紛らわしい表現で広告掲載など色々な勧誘が行われる可能性があります。

記念行事に関する案内等は外部業者に依頼することなく同窓会、学園、大学から直接ご案内いたしますのでどうぞご注意ください。

広島工業大学  
同窓会誌第39号

発行 広島工業大学同窓会  
編集 広島工業大学同窓会編集委員会  
731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1  
広島工業大学内広島工業大学同窓会  
TEL(082)921-3121 内線8103  
FAX(082)922-1925  
E-mail:dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp  
URL:http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/

